

第2回埼玉県一次脳卒中センター（PSC）施設 医療ソーシャルワーカー（MSW）連携会議（2024.3.19）

埼玉県

令和5年度脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業
進捗状況報告

埼玉医科大学国際医療センター

第2期循環器病対策推進基本計画 概要

数値目標が示された

全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃から国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

新設

<循環器病の特徴と対策>



令和5年度当初予算案 2.8 億円 (2.0 億円) ※ () 内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 循環器病対策推進基本計画で、脳卒中・心臓病等（循環器病）患者を中心とした包括的な支援体制を構築するため、多職種が連携して、総合的な取組を進めることとしているが、これまでに都道府県が医療計画などで実施している対策よりも幅広い内容であり、各医療施設で個々の取組はされているものの情報が行き渡っているとはいえず、全ての支援について、**十分なレベルで提供することに対して課題がある。**
- この取組を効果的に推進するため、専門的な知識を有し、地域の情報提供等の中心的な役割を担う医療機関に脳卒中・心臓病等総合支援センターを配置し、都道府県と連携しつつ、地域の医療機関と勉強会や支援方法などの情報提供を行うなど協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、地域全体の患者支援体制の充実を図ることを目的とする。

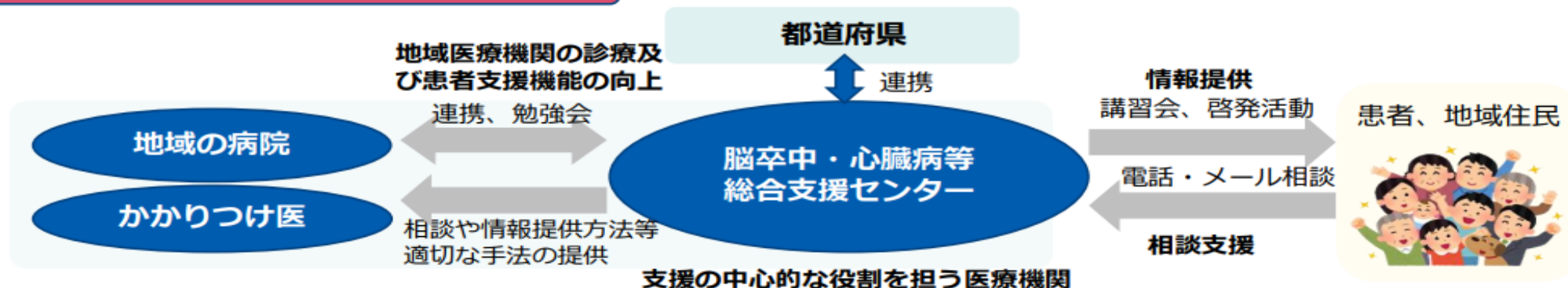
2 事業の概要・スキーム

- <事業の概要>** 都道府県の循環器病対策推進計画等を踏まえ、自治体や関連する学会等とも連携しながら、以下の内容に関する事業を行う。
- ・循環器病患者・家族の相談支援窓口の設置（電話、メール相談を含む）
 - ・地域住民を対象とした循環器病について、予防に関する内容も含めた情報提供、普及啓発
 - ・地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会、勉強会等の開催
 - ・相談支援を効率的に行う、資材（パンフレットなど）の開発・提供
 - ・その他、総合支援を効率的に行うために必要と考えられるもの

- <期待される効果>**
- ・地域医療機関の診療及び患者支援機能の向上が可能となる
 - ・国民がワンストップで必要な情報を得られるとともに、より効率的かつ質の高い支援が可能となる

脳卒中・心臓病等総合支援センターのイメージ

本モデル事業の有効性を検証した上で、好事例として横展開を図る等により将来的に全国に広げることを検討



3 実施主体等

- ◆実施主体：**各都道府県において、脳卒中・心臓病等の循環器病に対する中心的な役割を担う医療機関**
- ①先天性疾患に対する診療、外来リハビリテーション、緩和ケア等、循環器病に対する総合的な診療を行える施設であり、地域の病院、かかりつけ医などとも密接に連携が取れること②自治体との密な連携が取れ、循環器病の後遺症を有する者に対する支援及び治療と仕事の両立支援・就労支援を行っていること
- ◆箇所数：15箇所 ◆1箇所あたり：1,800万円程度 ◆補助率：定額（10/10相当） ◆事業実績：令和4年度応募数32病院、採択数12病院

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業採択医療機関

・令和4年度（応募28中10自治体）

・令和5年度（応募24中15自治体）

No	都道府県	事業者名
1	宮城県	国立大学法人東北大学東北大学病院
2	茨城県	国立大学法人筑波大学
3	栃木県	学校法人獨協学園獨協医科大学病院
		学校法人自治医科大学
4	富山県	国立大学法人富山大学附属病院
5	三重県	国立大学法人三重大学医学部附属病院
6	京都府	京都府立医科大学附属病院
		国立大学法人京都大学
7	徳島県	国立大学法人徳島大学
8	香川県	国立大学法人香川大学
9	福岡県	独立行政法人国立病院機構九州医療センター
10	熊本県	国立大学法人熊本大学熊本大学病院

No	都道府県	事業者名
1	青森県	国立大学法人 弘前大学
2	岩手県	学校法人 岩手医科大学
3	埼玉県	学校法人 埼玉医科大学
4	神奈川県	東海大学医学部附属病院
5	石川県	国立大学法人 金沢大学附属病院
6	福井県	国立大学法人 福井大学医学部附属病院
7	長野県	国立大学法人 信州大学医学部附属病院
8	大阪府	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
9	兵庫県	国立大学法人 神戸大学医学部附属病院
		地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院
10	奈良県	公立大学法人 奈良県立医科大学
11	鳥取県	国立大学法人 鳥取大学医学部附属病院
12	広島県	国立大学法人広島大学 広島大学病院
13	愛媛県	愛媛大学医学部附属病院
14	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院
15	長崎県	国立大学法人 長崎大学病院

厚労省 循環器病総合支援委員会

- 病院単独で頑張るのではなく、**地域医療機関と連携して、都道府県における情報提供・相談支援を充実させてほしい**
 - ・ 行政・医師会との連携
 - ・ 地域における多職種との連携
- 相談支援の件数の多さを求めているわけではない
- 関係診療科だけではなく、病院全体の活動としてほしい
 - ・ 病院幹部・事務部・多職種の積極的関与

主な協力機関

- 国（厚労省・循環器病支援総合委員会）
- 埼玉県（疾病対策課）
 - ・ 埼玉県循環器病対策推進協議会
 - ・ 同・脳卒中部会
 - ・ 同・心疾患部会
- 埼玉県医師会
- 日本脳卒中学会、埼玉脳卒中協会、日本循環器学会他

日本脳卒中学会認定 一次脳卒中センター(PSC)コア一覧(埼玉県)

認定期間：2023/4/1～2024/3/31

【認定基準】

一次脳卒中センター(PSC)コアは下記の5項目をみたすことが求められる

1. 一次脳卒中センター(PSC)に認定されていること
2. 日本脳神経血管内治療学会の脳血管内治療専門医と3学会認定の脳血栓回収療法実施医が合計して常勤3名以上であること
3. 血栓回収治療実績が年間12例以上あること
4. 自施設において24H/7Dで血栓回収治療に対応可能であること
5. 脳卒中相談窓口を設置すること

※一次脳卒中センター (PSC)
脳の血管に詰まった血栓を点滴で溶かすことができるアルテプラゼという薬剤による治療を24H・365D可能な施設

自治医科大学附属さいたま医療センター	さいたま市大宮区天沼町1-847
医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院	上尾市柏座1-10-10
TMGあさか医療センター	朝霞市溝沼1340-1
埼玉県済生会加須病院	加須市上高柳1680番地
川口市立医療センター	川口市西新井宿180
埼玉医科大学総合医療センター	川越市大字鴨田1981番地
埼玉県立循環器・呼吸器病センター	熊谷市板井1696
獨協医科大学埼玉医療センター	越谷市南越谷2-1-50
社会医療法人財団 石心会 埼玉石心会病院	狭山市入間川2丁目37番20号
防衛医科大学校病院	所沢市並木3-2
社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院	所沢市東狭山ヶ丘4-2692-1
医療法人社団東光会 戸田中央総合病院	戸田市本町1-19-3
新座志木中央総合病院	新座市東北1丁目7番2号
埼玉医科大学国際医療センター	日高市大字山根1397-1

脳卒中相談窓口について

PSCコアの認定要件「5.脳卒中相談窓口を設置すること」については、以下の設置条件を備えた「脳卒中相談窓口」を院内に設置し、運用できることが要件となります

1. 構成員

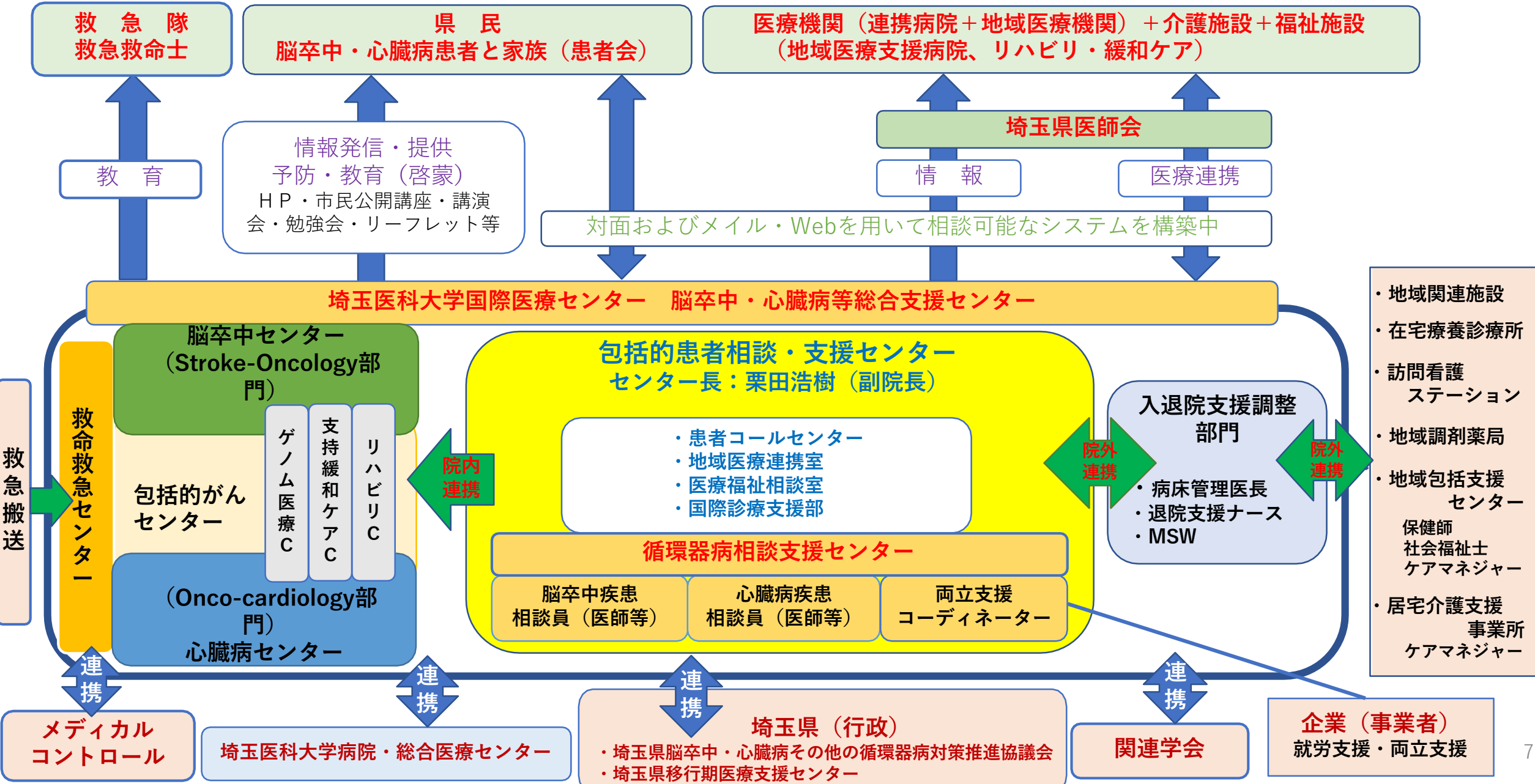
責任者（必須）：脳卒中専門医資格を持つ常勤の医師1名

構成員①（必須）：常勤の脳卒中に精通した看護師（脳卒中認定看護師が望ましい）もしくは准看護師、常勤の医療ソーシャルワーカー（社会福祉士や精神保健福祉士）各1名以上

構成員②（必須）：常勤の脳卒中療養相談士1名以上。上記者と同一でも可

構成員③：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士（公認心理師）、相談支援専従の事務職員など

埼玉医科大学国際医療センター脳卒中・心臓病等総合支援センター概要



基本コンセプト: 支援戦略の統合化によるシームレスな支援

包括的患者相談・支援センター

(責任者: 栗田浩樹、副院長・脳卒中センター長)

患者コールセンター (センター長: 真下由美教授)
 地域医療連携室 (室長: 真下由美教授)
 医療福祉相談室 (室長: 大西秀樹教授)
 国際診療支援部 (部長: 高橋秀寿教授)

連携・協働

がん相談支援センター
 (責任者: 大西秀樹教授)

緩和ケアチーム

支持医療科医師
 看護師
 管理栄養士
 社会福祉士

Stroke oncology
 Onco-cardiology

循環器病相談支援センター

(責任者: 鈴木孝明 副院長・心臓病センター長)

脳卒中相談窓口

(室長: 鈴木・脳卒中外科講師)
 医師1名、看護師8名、事務1名
 薬剤師2名、リハビリ療法士3名
 社会福祉士1名
 (脳卒中療養相談士6名)

心臓病相談窓口

(室長: 森・心臓内科講師)
 医師1名、看護師10名、事務1名
 薬剤師2名、リハビリ療法士1名
 管理栄養士1名、社会福祉士1名
 (心不全療養指導士3名)
 (人工心臓管理技術認定士3名)

Declaration of BD
 Recipient support

移植相談支援センター

(責任者: 根本学教授)

移植ケアチーム

各診療科医師
 移植コ-ディネ-タ-
 看護師
 社会福祉士

連携・協働

就労・両立支援

両立支援コーディネーター (SW)

所沢ハローワーク (就労支援ナビゲーター)

埼玉産業保健総合支援センター (両立支援促進員)

企業

(産業医・専務担当者)

小児心臓科・小児心臓外科
 成人・移行期先天性心疾患センター

先天性疾患支援
 小児期・若年期・
 移行期医療支援

・小児病院 (埼玉県立小児医療センター、他)
 ・埼玉県移行期医療支援センター

県民・患者・家族

相談

支援

院外
 連携

入退院支援調整部門

主な事業内容と1年間の活動

1 患者・家族からの相談支援窓口設置 (2022.10)

国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族に対し、一体的な相談窓口を設置

窓 口：国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター

(日高市山根1397-1)

W e b : <https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/consultation/>

2 すべての県民を対象とした循環器病に関する情報提供・普及啓発

公開講座の開催（アーカイブ視聴可能）、県や県医師会が開催する県民向け公開講座への講師派遣、患者・家族勉強会の開催（Web形式）など、予防や重症化予防に向けた取組を行います。

3 地域の医療機関への横展開

県内PSC core施設に設置が義務づけられた脳卒中相談窓口のとりまとめ役

心臓病診療施設に対する心臓病相談窓口の設置推進、とりまとめ役

医師会（かかりつけ医）との情報共有、研修会

→循環器病支援の県内均霑化

脳卒中・心臓病総合支援センター専用HPの開設

脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設のご案内

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設について

厚生労働省の令和5年度事業として全国15府県(埼玉県では埼玉医科大学国際医療センター)に脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

国際医療センターでは埼玉県の循環器病対策推進計画と連携して本事業を推進します。

事業の主な内容は脳卒中、心臓病等に対する相談窓口の設置、埼玉県民を対象とした情報提供や普及啓発、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施、啓発資料の開発などです。

脳卒中・心臓病等総合支援センター開設に伴い、専用のホームページを公開しましたのであわせてご利用ください。



脳卒中・心臓病等総合支援センター
<https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/>

相談窓口について **相談無料**

相談窓口では医師、薬剤師、管理栄養士、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー、脳卒中・心臓病等担当看護師が、脳卒中や心臓病等で悩んでいる患者さんご家族の生活上の注意点、療養場所、後遺症や仕事と治療のことなど、様々な疑問や不安に対し、お話を聞かせていただき、悩みに応じた解決策と一緒に考えていく支援を行っています。

《お問い合わせは
便利なWebをご利用ください》



こちらの二次元コードを
読み取り、相談フォームに
ご入力ください

《お電話の方はこちら》

受付時間

8:30~17:00

(日・祝日・年末年始を除く)

患者コールセンター

☎042-984-0608

埼玉医科大学国際医療センター

〒350-1298

埼玉県日高市山根1397-1



LINEで送る いいね10 ポスト

印刷 ページ番号: 244760 掲載日: 2023年11月9日

脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました



● [脳卒中・心臓病等総合支援センターホームページ \(別ウィンドウで開きます\)](#)

令和5年度の厚生労働省「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」として、埼玉医科大学国際医療センターに脳卒中・心臓病等総合支援センターが開設されました。

県内の脳卒中や心臓病などの患者や家族などに対して情報提供や相談支援を行います。

また、かかりつけ医と医療従事者に向けた研修会の実施

pref.saitama.lg.jp



埼玉医科大学国際医療センター

脳卒中・心臓病等総合支援センター



脳卒中・心臓病等総合支援センター
開設のご案内



便利なWEBでの相談を推奨(患者・家族・介護関係者)

脳卒中相談窓口・心臓病相談窓口の利用

脳卒中・心臓病について相談希望の方はこちらをご覧ください。

相談をご希望の方

Webで相談希望の方

お問い合わせフォーム

脳卒中と心臓病でお問い合わせフォームが異なりますのでご注意ください。

脳卒中についてご相談の方



心臓病についてご相談の方



※ドメイン指定受信を設定している場合は、「@saitama-med.ac.jp」からのメールを受信できるように設定をお願い致します。

※返答に少々お時間をいただくことをご了承ください。

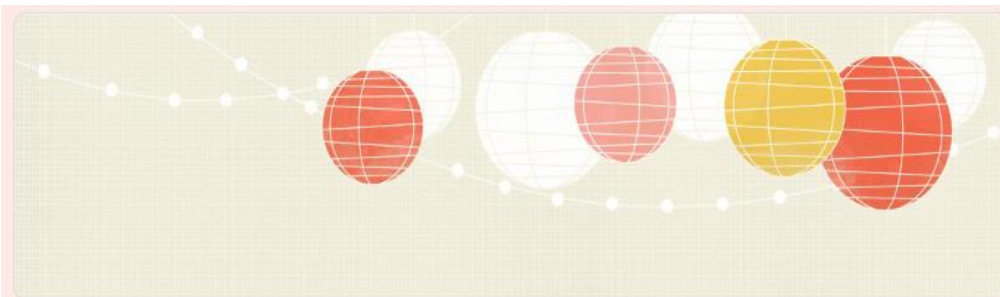
※お電話による返答とさせていただく場合もあります。

お電話でのお問い合わせ

患者コールセンター

TEL : 042-984-0608 (直通)

ページの先頭へ戻る ↑



【心臓病】 相談フォーム

model_cardiac@saitama-med.ac.jp [アカウントを切り替える](#)



* 必須の質問です

メールアドレス *

メールアドレス

相談者と患者さんの関係 *

- 患者本人
- 家族
- 友人・知人
- 一般

患者や家族への脳卒中関連動画の視聴

- ・専用タブレット
- ・専用QRコード

厚生労働省医務事業による啓発動画

脳卒中の予防・発症時の対応と退院後の相談支援

知ってほしい!
脳卒中予防・発症時対応

脳卒中とは何か、その予防や起こったときの対応まであなたの質問に、11本の動画でわかりやすく答えます

脳卒中は、お年寄りだけでなく若い世代でも発症します。脳の血管の病気によって**突然起こる病気**です。

脳卒中の予防について、それぞれ、2~3分程度の動画で解説しています。

第1話 **脳卒中ってなに?**

第2話 **高血圧**

第3話 **糖尿病**

第4話 **不整脈**

第5話 **脂質異常症**

第6話 **たばこ**

第7話 **太り気味の人**

第8話 **塩分**

第9話 **悪い生活習慣**

第10話 **要介護状態や認知症**

第11話 **一刻も早く病院へ!**

※これらの動画は、厚生労働省2022年度「啓発動画」に関する普及啓発事業委託費によって制作されたものです。
制作・著作：一般社団法人日本脳卒中協会、公益社団法人日本脳卒中協会

厚生労働省医務事業による啓発動画

脳卒中の予防・発症時の対応と退院後の相談支援

知って欲しい!
退院後の相談支援

再発、お金、仕事のことなどが心配でした

脳卒中の薬はなぜ続けるのでしょうか?

後遺症や合併症が心配です

退院後の費用や支援についてお話しします

自己管理や日々の注意点についてお話しします

住環境の整備や車の運転などについてお話しします

イントロダクション
脳卒中患者さんが自宅に戻りました～生活費のことでお伝えしたいこと～ (約7分)

生活期 第1話
脳卒中のことでお伝えしたいこと (約5分)

生活期 第2話
お金に関することでお伝えしたいこと (約2分)

生活期 第3話
これからの生活でお伝えしたいこと (約5分)

※これらの動画は、厚生労働省2022年度「啓発動画」に関する普及啓発事業委託費によって制作されたものです。
制作・著作：一般社団法人日本脳卒中協会、公益社団法人日本脳卒中協会



視聴回数

2022年10月-2023年3月: 3094回

2023年4月-9月: 5138回

“いつでも、どこでも、なんどでも”

患者や家族への心不全関連動画の視聴

心不全と上手に付き合うためには
～心不全自己管理のすすめ～

厚生労働科学
研究費補助金

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
の研究グループが作成した、心不全教育動画です。



心不全の特徴や心不全と上手に付き合うコツ、介護サービスの利用について等を分かりやすく解説しています。

第1話

心不全で入退院を
繰り返す



<https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/common/upload/episode1.mp4>

第2話

心不全は
どんな病気？



<https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/common/upload/episode2.mp4>

第3話

心不全の
自己管理とは？



<https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/common/upload/episode3.mp4>

第4話

心不全の
人生会議とは？



<https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/common/upload/episode4.mp4>

第5話

介護サービス利用
のススメ



<https://plaza.umin.ac.jp/isobegroup/common/upload/episode5.mp4>

※こちらの二次元コードから
ご覧いただけます。
また、外来でもご覧になれます
ので、看護師にお声がけく
ださい。



お問合せ：脳卒中・心臓病等総合支援センター
受付時間：8：30～17：00(日・祝日・年末年始除く)
場 所：E棟2階
電話番号：042-984-0608



脳卒中・心臓病等総合支援センターについて
アンケートにご協力をお願い致します。



埼玉医科大学国際医療センター

・専用タブレット
・専用QRコード



“いつでも、どこでも、なんどでも”

主な事業内容と1年間の活動

1 患者・家族からの相談支援窓口設置 (2022.10)

国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族に対し、一体的な相談窓口を設置

窓 口：国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター

(日高市山根1397-1)

W e b : <https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/consultation/>

2 すべての県民を対象とした循環器病に関する情報提供・普及啓発

公開講座の開催（アーカイブ視聴可能）、県や県医師会が開催する県民向け公開講座への講師派遣、患者・家族勉強会の開催（Web形式）など、予防や重症化予防に向けた取組。

3 地域の医療機関への横展開

県内PSC core施設に設置が義務づけられた脳卒中相談窓口のとりまとめ役

心臓病診療施設に対する心臓病相談窓口の設置推進、とりまとめ役

医師会（かかりつけ医）との情報共有、研修会

→循環器病支援の県内均霑化

埼玉県が実施する県民向け公開講座への協力

県民公開講座

脳卒中・心臓病

上手なお付き合い

～発症後の生活や仕事との両立～

令和5年 12/9(土) 13:00~15:30 参加費:無料

脳 13:05~	脳卒中の病態と退院後の二次予防 医療法人聖心会 脳神経外科フロンティア由戸西 院長 伏原 豊司先生	脳卒中リハビリテーション 埼玉医科大学国際医療センター リハビリテーション科 高橋 秀寿先生	
心臓 13:35~	心臓病にかかったら日常生活はどう変わる? 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 田中 尚文先生	心臓リハビリテーション 埼玉医科大学国際医療センター 心臓内科 田中 尚文先生	
両立支援 14:45~	脳卒中の就労支援の特徴 埼玉医科大学国際医療センター 医療福祉相談室長 田村 順子氏	心臓病の就労支援の特徴 埼玉医科大学国際医療センター 医療福祉相談室長 社会福祉士 歌谷 知子氏	ハローワークでの就労支援 ハローワーク所長 就職支援ナビゲーター 専門員 山下 美和氏

両立支援 (Red circled)

場所: ウェスタ川越 7F 多目的ホール
川越市新宿町3-17-17 ※川越駅西口徒歩5分
※公共交通機関でお越しください

対象: 埼玉県民、県内在住のどなたでも(会場定員100人先着)

問合せ: 埼玉県疾病対策課 総務・疾病対策担当
TEL.048-830-3598

申込: Googleフォーム 締切12月8日 定数があれば 当日参加も可

埼玉県 連携組織 公開講座

共催: 埼玉県 / 埼玉医科大学国際医療センター / 埼玉県 連携組織 公開講座

後援: 一般社団法人埼玉県医師会 / 公益社団法人日本脳卒中協会埼玉支部 / 一般社団法人日本循環器協会埼玉支部

NHK NEWS WEB

NHKについて ニュース NHKプラス 受信料の窓口

新着 天気 動画 ニュースジャンル

首都圏 NEWS WEB ▶ 首都圏の深掘り記事

「脳卒中や心臓病後の支援に理解を」埼玉 川越で公開講座

12月09日 19時03分



脳卒中や心臓病を発症した人が退院した後も生活と仕事を両立させるための支援について理解を深めてもらおうという公開講座が9日、埼玉県川越市で開かれました。

埼玉県が開いた公開講座にはおよそ150人が参加しました。

県民向け公開講座

忍び寄る「脳卒中」「心臓病」

—命を守るこころがけ—

高血圧 ×
喫煙 ×
ストレス ×

自己管理が大切です

令和5年 1月21日(土) 13:15~16:00

場所: 埼玉会館7B会議室・Zoomウェビナー

定員: 会場50名・Zoomウェビナー500名

対象: 県民(どなたでも) ※要申込

参加費: 無料

申込方法: 電子申請届出サービス

申込URL: <https://form.nhk.or.jp/saitama-uffor/offer/ta/ta.html?actor=142976>

講師: 日本脳卒中協会埼玉支部 埼玉医科大学国際医療センター 脳神経内科 教授 高橋 秀一氏

講師: 埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中リハビリテーション科 脳卒中治療 脳神経科 教授 田中 尚文氏

講師: 日本循環器協会埼玉支部 埼玉医科大学国際医療センター 循環器内科 教授 岡田 隆 氏

講師: 埼玉県立がんセンター がん予防推進センター がん予防推進 がん予防推進 教授 岡田 隆 氏

問合せ: 埼玉県疾病対策課 総務・疾病対策担当 048-830-3598

共催: 日本脳卒中協会埼玉支部 日本循環器協会埼玉支部 後援: 埼玉県医師会

市民公開講座 2023年2月4日(土) (前年度開催例)

LIVE HYBRID 対面聴講 ▶ 第25回 埼玉医科大学国際医療センター 市民公開講座



『脳と心臓の赤信号：危険な頭痛、命にかかわる胸痛』

日時：2023年2月4日(土) 12:00開場

場所：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1

会場に来場しての対面形式、YouTubeによるオンライン形式を併用してのハイブリット形式による開催

YouTubeでのLIVE配信(申込後、URLを送ります。)と会場での対面聴講(申し込みが難しい方は、現地での申し込み可。)によるハイブリット開催を行います。予約制となっております。当日の11:45までにお申し込みください。お電話での申し込みは、受け付けておりません。

- ①体調のすぐれない方、体温が37.5℃以上の方は入場をご遠慮ください。
- ②会場に参加される方は当日、マスクの着用をお願いします。
- ③入場時に消毒と検温をお願いします。

今回の埼玉医科大学国際医療センター市民公開講座は、脳卒中センターと心臓病センターが合同で開催します。日頃市民の皆様が不安に感じている“危険な頭痛”と“命にかかわる胸痛”について知識を深めていただきたいと思います。

お申込み・お問合せ：埼玉医科大学国際医療センター市民公開講座部会
申込フォームはこちら
右記の申込フォームからお申し込みください。申込後、1週間以内に受付完了メールをお送りいたします。優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください。また、それ以外の場所では、マナーモードに切替え、通話をご遠慮いたします。
問合せ先：042-978-7137 URL: https://www.international.saitama-med.ac.jp/public_lecture/

開会 13:00 開会の挨拶 病院長 佐伯 俊昭

講演 13:10~15:30

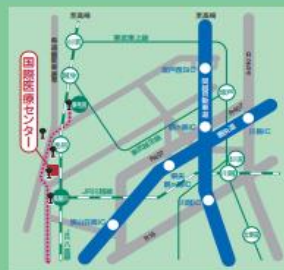
脳卒中センター
(1)危険な頭痛—脳出血 脳卒中外科 大井川 秀聡
(2)危険な頭痛—くも膜下出血 脳血管内治療科 吉川 信一朗
(3)危険な頭痛—脳動脈解離と静脈洞血栓症 脳卒中内科 加藤 裕司

心臓病センター
(4)命にかかわる胸痛—急性心筋梗塞・不安定狭心症 心臓内科 保谷 洋貴
(5)命にかかわる胸痛—大動脈解離・大動脈瘤破裂 心臓血管外科 吉武 明弘

閉会 15:30 閉会のことば 市民公開講座部会長 鈴木 孝明

- 相談コーナー
- 1) お薬相談コーナー
 - 2) 看護相談コーナー
 - 3) 医療福祉相談コーナー
 - 4) 栄養相談コーナー
 - 5) 医療機器体験コーナー
 - 6) BLS体験コーナー

包括的患者相談・支援センター開設後
モデル事業申請中に開催



埼玉医科大学国際医療センターバス時刻表

時	飯能駅発		東毛駅発		高麗川駅発		高麗川駅発		埼玉医大発		埼玉医大発		埼玉医大保健医療学部発	
	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜	土曜
10:31	16:34	16:54	07:36	44	22:40	36	15:43	12:38	59	09				
11:30	06:34	06:49	03:32	43	00:12	40	01:35	16:43	23:36	59	09			
12:30	06:21	06:47	02:02	43	12:27	53	00:35	17:43	17:32	42	09	41		

主催：埼玉医科大学国際医療センター
協賛：埼玉まなび、プロジェクト協賛事業
後援：埼玉医科大学医師会 埼玉県医師会 入間地区医師会 坂戸鶴ヶ島医師会 狭山市医師会 秩父郡市医師会 新緑地区医師会 社会福祉会 所沢市医師会 入間市 毛呂山町 狭生町 坂戸市 鶴ヶ島市 狭山市 秩父市 横瀬町 小森野町 皆野町 高崎町 熊谷市 日高市 東松山市 湯川町 嵐山町 小川町 川島町 岩見町 鳩山町 ときがわ町 東秩父村 所沢市 川越市 九木記念福祉メディカルセンター 埼玉医科大学アスリートクラブ後援会

2024年1月27日(土) 「救急医療の第一線」

(今年度開催)

LIVE HYBRID 対面聴講 第28回 埼玉医科大学国際医療センター 市民公開講座

「救急医療の第一線」



日時：2024年1月27日(土)
12:00開場

対面形式：予約不要
LIVE配信：予約制

場所：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1

会場に会場での対面形式、YouTubeによるオンライン形式を併用してのハイブリット形式による開催

LIVE 配信については限定公開となっておりますのでフォームからご予約をお願いします。対面形式については予約不要ですので直接会場へお越しください。厚生労働省は医療機関を受診する場合にはマスクの着用を推奨しています。当院は、重症化リスクの高い患者さんが多く来院されますので、構内ではマスクの着用をお願いします。

お申込み・お問合せ：埼玉医科大学国際医療センター市民公開講座部会

右記の申込フォームからお申し込みください。
Google フォームから送信完了メールが届かない場合は、ご連絡ください。
優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください。
また、それ以外の場所では、マナーモードに切替え、通話をご遠慮します。
問合せ先：042-978-7137 URL: https://www.international.saitama-med.ac.jp/public_lecture/

申込フォームはこちらから



開会
13:00

開会の挨拶

病院長 佐伯 俊昭

講演
13:10~15:30

(1)けが

救命救急科 加地 正人

(2)災害医療と DMAT

救命救急科 大谷 義孝

(3)一刻を争う頭部疾患：脳卒中と頭部外傷

脳卒中外科 大井川 秀聡

(4)軽い頭部外傷でも安心は禁物：一過性脳虚血発作と慢性硬膜下血腫について

脳卒中外科 柴田 碧人

閉会
15:30

閉会のことば

市民公開講座部会長 鈴木 孝明

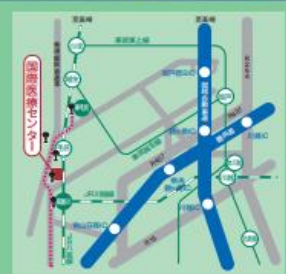
相談コーナー

- 1) お薬相談コーナー
- 2) 看護相談コーナー
- 3) 放射線検査相談コーナー
- 4) 栄養相談コーナー
- 5) 医療機器体験コーナー
- 6) BLS 体験コーナー

能登半島地震
DMATの活動報告も含めて

脳卒中関連

後援：埼玉県、
埼玉県医師会
7地区医師会



埼玉医科大学国際医療センターバス時刻表

目的地	埼玉医科大学国際医療センター						埼玉医大保健医療学部		
	飯能駅	栗毛呂駅	高麗川駅	高麗川駅	埼玉医大	埼玉医大	高麗川・栗毛呂	日高駅	飯能駅
埼玉医大	01:22:40	07:35	44	07:28:46	38	15	43	06:36:49	09
飯能駅	00:10:40	54	02	43	06:16:46	04:35	16	40	20:29:53
高麗川	10:23:53	02	43	00:16:29	59	35	17	32	08:24:42
飯能駅	00:10:40	54	02	43	06:16:46	04:35	16	40	20:29:53

主催：埼玉医科大学国際医療センター（脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業）
協賛：埼玉まなびいプロジェクト協賛事業
後援：埼玉医科大学医師会 埼玉県医師会 入間地区医師会 坂戸鶴ヶ島医師会 狭山市医師会 秩父市医師会 飯能地区医師会 比企医師会 所沢市医師会 埼玉県 日高市 毛呂山町 越生町 丸木記念福祉メディカルセンター 埼玉医科大学アスリートクラブ後援会

2024年3月16日(土)「今日からできる脳卒中・心臓病の予防」

LIVE HYBRID 対面聴講 **第29回 埼玉医科大学国際医療センター 市民公開講座**

『今日からできる脳卒中・心臓病の予防—病気を知って予防しよう。治ってからの再発予防も大切です。—』



(今年度開催)

日時：**2024年3月16日(土)**

12:00開場

ご来場：予約不要
LIVE配信：予約制

会場：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
(日高キャンパス) 埼玉県日高市山根 1397-1

YouTubeによるLIVE配信を希望の方は予約してください。

厚生労働省は医療機関を受診する場合にはマスクの着用を推奨しています。当院は、重症化リスクの高い患者さんが多く来院されますので、構内ではマスクの着用をお願いします。

お申込み・お問合せ：埼玉医科大学国際医療センター市民公開講座部会

右記の申込フォームからお申し込みください。
Googleフォームが届かない場合は、ご連絡ください。
優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください。
また、それ以外の場所では、マナーモードに切替え、通話はご遠慮願います。
問合せ先:042-978-7137
URL:https://www.international.saitama-med.ac.jp/public_lecture/

申込フォームはこちらから



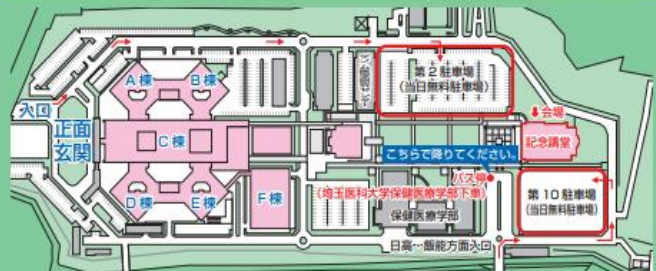
開会 13:00	開会の挨拶 病院長 佐伯 俊 昭
講演 13:05~15:00	(1)脳卒中・心臓病の一次予防、二次予防の共通点・相違点 心臓内科 中 埜 信太郎 脳卒中外科 鈴木 海馬 (2)脳卒中・心臓病の予防と再発予防について—メディカルスタッフから— 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 内 田 裕 美 心臓病センター看護師 粕 谷 雅 代 管理栄養士 新 井 沙央里 薬剤師 志保井 太 郎 理学療法士 岩 崎 寛 之 (3)質疑応答 司 会 中 埜 信太郎 鈴木 海馬 回答者 メディカルスタッフ
休憩 (15分)	
閉会 15:00	閉会のことば 市民公開講座部会長 鈴木 孝 明
相談コーナー	1) お薬相談コーナー 2) 看護相談コーナー 3) 放射線検査相談コーナー 4) 栄養相談コーナー 5) 医療機器体験コーナー 6) BLS 体験コーナー

脳卒中・心臓病の予防を医師が対談形式で解説

メディカルスタッフ(看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士)から予防を解説

質疑応答

後援：埼玉県、埼玉県医師会、7地区医師会



2024年3月16日(土)バス時刻表 停留所名:「埼玉医大保健医療学部」(日高市)

《行き》:埼玉医大保健医療学部【下車】					《帰り》:埼玉医大保健医療学部【発】		
路線	発	行	行	行	路線	発	行
新能久野発	高麗沢発	高麗川駅発	栗毛呂駅発	埼玉大(日高)発	高麗川駅発	高麗沢駅発	新能久野発
10:31	45	09:35	01:22:40	07:28:45	35	15:39	06:36:49
11:30	44	02	00:10:40	06:16:45	03:31	16:39	20:29:53
12:30	44	02	10:23:53	00:16:29	09:31	17:33	08:24:57

主催：埼玉医科大学国際医療センター(脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業)
 協賛：埼玉まなび、プロジェクト協賛事業
 後援：埼玉医科大学医師会 埼玉県医師会 入間地区医師会 坂戸鶴ヶ島医師会 狭山市医師会
 秩父郡市医師会 新能久野地区医師会 比企医師会 所沢市医師会 埼玉県 日高市 毛呂山町
 越生町 丸木記念福祉メディカルセンター 埼玉医科大学アスリートクラブ後援会

主な事業内容と1年間の活動

1 患者・家族からの相談支援窓口設置 (2022.10)

国際医療センターに通院していない県民も含め、患者・家族に対し、一体的な相談窓口を設置

窓 口：国際医療センター 脳卒中・心臓病等総合支援センター

(日高市山根1397-1)

W e b : <https://saitama-hokatsu.com/nou-shin/consultation/>

2 すべての県民を対象とした循環器病に関する情報提供・普及啓発

公開講座の開催（アーカイブ視聴可能）、県や県医師会が開催する県民向け公開講座への講師派遣、患者・家族勉強会の開催（Web形式）など、予防や重症化予防に向けた取組。

3 地域の医療機関への横展開

県内PSC core施設に設置が義務づけられた脳卒中相談窓口のとりまとめ役

心臓病診療施設に対する心臓病相談窓口の設置推進、とりまとめ役

医師会（かかりつけ医）との情報共有、研修会

→循環器病支援の県内均霑化

MSW連携会議

- 各病院は患者さんの受入、退院についてそれぞれのエリアでネットワークを持っている。
- 各ネットワークにおける様々な好事例や困り事、就労・両立支援への取り組み、有効なパンフレットや動画などの教育・情報宣伝資材の紹介、独自に取り組んでいる地域連携事例等を皆で共有し、患者支援に役立て、各エリアのネットワークへ広げて行く。
- 当院がモデル事業の一環として作成したホームページ「脳卒中・心臓病等総合支援センター」へ、寄せられた好事例等を掲載し、共有する。
- 公益社団法人埼玉県医療社会事業協会様にもご協力をお願いします。

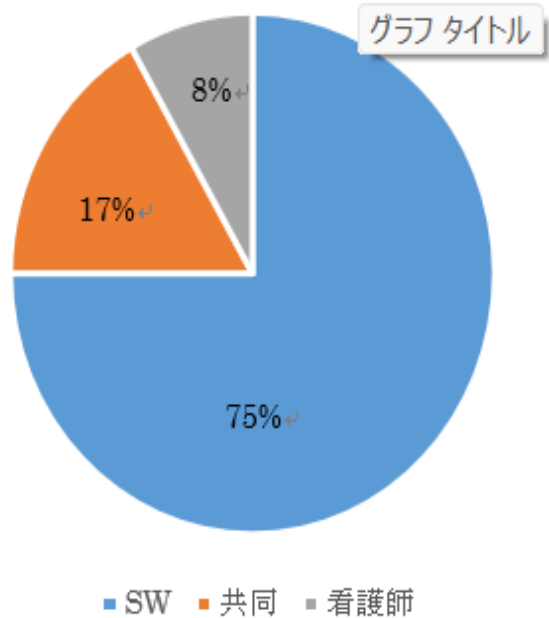
地域医療関係者との連携（第1回MSW連携会議 2023.10.19）



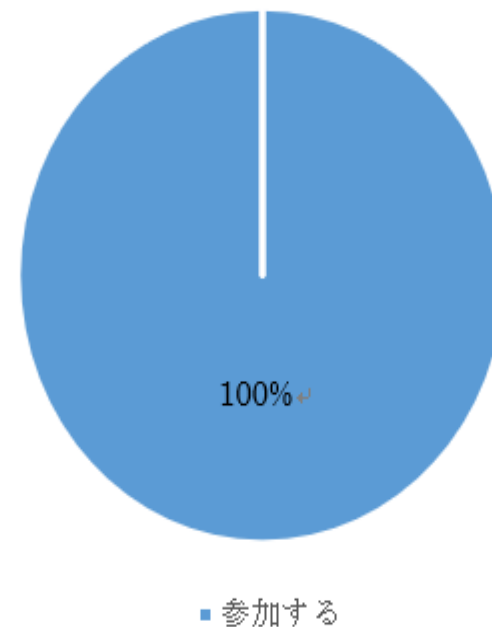
- 急性期病院（PSC/PSCコア）に所属、それぞれのエリアでネットワークを所有
- 第2回MSW連携会議を「心臓病」に拡大し、開催（2024.3.19）
- 各ネットワークに存在する好事例等を共有
- 集まった情報をモデル事業選定病院（国際医療センター）のHPへ掲載予定

第1回MSW連携会議アンケート結果 2023.10.19

退院支援の主な担当職種



今後、心臓病のMSW会を企画した場合の参加可否



埼玉県医療社会事業協会：協会内では主に SW が退院支援をしていますが、最近では退院支援看護師と共同や役割分担を行いながら行っている医療機関も多いようです。

「治療」と「仕事」の両立支援

治療を受けながら働きたいけれど、
誰にも相談できずに1人で悩んでいませんか？
1人で悩まず、両立支援促進員や就職支援ナビゲーターに
相談しませんか？

【相談事例】

- ◆病気になるってしまったけれど、仕事を続けたい。
- ◆病気のことを会社にうまく伝えられない。
- ◆自分の病状、体力に合った仕事を見つけたい。
- ◆治療と仕事を両立できるか不安。



など

職場復帰支援

埼玉産業保健総合支援センターの 両立支援促進員による相談会

【2023年度 開催日程】

12月21(木)・1月18日(木)
2月15日(木)・3月21日(木)

時間：①11時～ ②12時～
③13時～



※ご相談は原則予約制です

就職支援

ハローワーク所沢の 就職支援ナビゲーターによる 就職相談会(かかりつけの方のみ)

【2023年度 開催日程】

11月24日(金)・12月13日(水)
12月22日(金)・1月10日(水)
1月26日(金)・2月14日(水)
2月22日(木)・3月13日(水)
3月22日(金)

時間：①10時～ ②11時～
③13時～ ④14時～

※ご相談は原則予約制です



※感染症流行時等は中止となる可能性があります。
必ず予約またはお問い合わせの上、ご利用ください。

相談場所：E棟2階説明相談室

【お問合せ先】
医療福祉相談室
TEL：042-984-4106（直通）

埼玉医科大学国際医療センター

両立支援

「所沢ハローワーク」と

「埼玉産業保健総合支援センター」(新規)

「所沢ハローワーク」

→ 病気を原因に職を失ってしまった方
への就職支援

「埼玉産業保健総合支援センター」

→ 就業中の方で治療を受けながら働きたい方への両立支援

「療養・就労両立支援指導料」の算定

地域医療関係者への働きかけ（かわせみ教育カンファレンス②）

埼玉医科大学国際医療センター
2023年度 かわせみ教育カンファレンス

※かわせみ教育カンファとは、埼玉県西部地域の医療施設における看護師—看護師の連携を深めるために当院で主催しているカンファレンスです。

脳卒中領域における地域連携とは
～活用しよう！「脳卒中相談窓口」～

日本脳卒中協会 脳卒中予防啓発シンボル
<http://www.jsa-web.org/medical/228.html>

ストップ！
NO卒中

日時：2023年9月8日（金）18:00～19:30
会場：教育研究棟2階 大講堂
Web開催（ハイブリッド形式）
講師：鈴木 海馬（脳卒中外科 講師）
槽谷 奈緒（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）
ソーシャルワーカー、など
申し込み締め切り：9月4日（月）12：00まで
申し込み URL：
<https://ssl.formman.com/form/pc/XalxkZH4UbuEJwGp/>

申し込み
QRコード：

【問い合わせ先】
埼玉医科大学国際医療センター教育支援センター
kyoikuo@saitama-med.ac.jp

主に**看護師の地域医療連携**を深め、特に医療依存度の高い患者さんにシームレスなケアを提供するための**看護師間の連携強化を目指す**べく、2016年より開催している看護教育連携カンファレンス

今年度開催

【脳卒中関連】

日時：2023年10月27日(金) 18時より 済

『脳卒中領域における地域連携とは
～活用しよう！「脳卒中相談窓口」』～

地域医療関係者への働きかけ（かわせみ教育カンファレンス①）

埼玉医科大学国際医療センター
2023年度 かわせみ教育カンファレンス

※かわせみ教育カンファとは、埼玉県西部地域の医療施設における看護師－看護師の連携を深めるために当院で主催しているカンファレンスです。

これぞシームレスなケア！！
めざせ！オラが町の看－看連携



～患者・家族、関係機関が一体となった
総合支援の実現に向けて～

日時：2023年11月10日（金）18:00～19:30

会場：教育研究棟2階 大講堂
Web開催（ハイブリッド形式）

申し込み締め切り11月6日（月）12：00まで

申し込み URL：

<https://ssl.formman.com/form/pc/Xa1xkZH4UbuEJwGp/>

申し込み
QRコード：



【問い合わせ先】

埼玉医科大学国際医療センター教育支援センター kyoikuo@saitama-med.ac.jp

今年度開催

【心臓関連のテーマ】

日時：2023年11月10日（金） 18時より 済

『これぞシームレスなケア！

めざせ！オラが町の看－看連携』

方法：WEB配信

地域医療関係者への働きかけ（地域医療連携懇話会①）

第93回 地域医療連携懇話会

日時：2023年9月13日（水） 19:00～20:00

場所：埼玉医科大学国際医療センター 教育研究棟2階 大講堂よりハイブリッド開催

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 TEL：042-984-4433（地域医療連携室）

【総合司会】 地域医療連携室室長 眞下 由美 先生

【開会の辞】 病院長 佐伯 俊昭 先生

【座長】 脳神経内科・脳卒中内科 教授 高橋 慎一 先生

【一般講演】（質疑応答含む 20分）

『 脳卒中後てんかんのマネジメント 』

脳神経内科・脳卒中内科 教授 診療副部長 加藤 裕司 先生

【特別講演】（質疑応答含む 30分）

『 脳卒中再発予防と認知症診療の up to date :

多職種で力を合わせて、健康寿命の延伸を目指す 』

脳神経内科・脳卒中内科 教授 診療部長 須田 智 先生

【閉会の辞】 丸木記念福祉メディカルセンター 病院長 棚橋 紀夫 先生

地域医療連携を深めるべく年4回、7地区医師会（所沢市・狭山市・入間地区・飯能地区・坂戸鶴ヶ島・比企・秩父郡市医師会）会員、同エリアの介護福祉関係先、これまでに医療・福祉連携があった関係先へ開催案内を発信。年々案内先は増加し、2023年7月現在、全465先となっている。

今年度開催

【脳卒中関連】

日時：2023年 9月13日(水) 19時 済

「脳卒中後てんかんのマネジメント」

「脳卒中再発予防と認知症診療」

方法：WEB配信

地域医療関係者への働きかけ（地域医療連携懇話会②）

第94回 地域医療連携懇話会

日時：2023年12月13日（水） 19:00～20:30

場所：埼玉医科大学国際医療センター 教育研究棟2階 大講堂よりハイブリッド開催

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 TEL：042-984-4433（地域医療連携室）

【総合司会】 地域医療連携室室長 眞下 由美 先生

【開会の辞】 病院長 佐伯 俊昭 先生

【座長】 支持医療科教授 高橋 孝郎 先生

【基調講演】（15分）

『国際医療センターと地域医療との緩和連携をもう一度考える』

支持医療科教授 高橋 孝郎 先生

【ラウンドテーブルディスカッション】（15分）

【特別講演】（20分）

『心不全包括ケアネットワークの構築と活用

：広島モデルの取り組み』

広島大学大学院 医系科学研究科 循環器内科学講師 北川 知郎 先生

【ラウンドテーブルディスカッション】（15分）

※連携医療機関からの出席者の方にもご参加いただき、意見交換を行います。

【総括】 精神腫瘍科教授 大西 秀樹 先生

【閉会の辞】 包括的がんセンター長 濱口 哲弥 先生

今年度開催

【心臓関連】

日時：2023年12月13日（水） 19時 済

特別講演

「心不全包括ケアネットワークの構築と活用」

方法：会場とWEB配信

地域医療関係者への働きかけ（地域医療連携懇話会 ③）

第95回 埼玉医科大学国際医療センター

地域医療連携懇話会

日時：2024年3月18日（月） 19:00～20:00

場所：埼玉医科大学国際医療センター 教育研究棟2階 大講堂よりハイブリッド開催

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1 TEL: 042-984-4433 (地域医療連携室)

今年度開催

【心臓関連】

日時：2024年 3月27日(水) 19時

「心臓リハビリテーション」

方法：会場とWEB配信

【総合司会】 地域医療連携室室長 眞下 由美 先生

【開会の辞】 病院長 佐伯 俊昭 先生

【座長】 心臓病センター長 鈴木 孝明 先生

『心臓リハビリテーションの概要』

リハビリテーション科 内田 龍制 先生

『心臓リハビリテーションの実際』

リハビリテーション科 PT 高橋 洋介 先生

『早期リハ導入や退院（転院）準備に向けての注意点』

A棟3階病棟看護師 吉田 未玖 様

【閉会の辞】 心臓病センター長 鈴木 孝明 先生

地域医療関係者との連携（埼玉県移行期医療支援センター）

第4回埼玉県移行期医療支援セミナー



何を準備するの？どう進めるの？ 大人の病院へ移行するまでに患者さんと家族が 準備すること、知っておくべきこと **成人期移行**

日時：令和5年**11月4日**（土）
10:00～12:00（受付9:30～）
場所：埼玉県立小児医療センター6階 講堂（会場参加のみ）

内容

定員**100名**（ひと家族3名様までの参加）
（中学生以下は家族同伴） 参加費 **無料**

挨拶・講評

埼玉県移行期医療支援センターセンター長
埼玉県立小児医療センター副院長 浜野 晋一郎

講義1

小児科から成人医療機関移行の現状と課題
-てんかん診療の経験から-
埼玉県立小児医療センター神経科医長 松浦 隆樹

講義2

-大人になるあなたと保護者の方へ-
自分に合った準備と必要なこと、移行期支援の紹介
埼玉県立小児医療センター小児看護専門看護師 安田 有希

令和元年度に開設した「埼玉県移行期医療支援センター」では、子どもの病院から大人の病院へスムーズな移行ができるよう相談窓口の開設やセミナー開催、リーフレットの作成などをおこなっています。
4回目となる今年のセミナーは「何を準備するの？どう進めるの？成人期移行」をテーマに、大人の病院へ移行するまでに患者さんと家族が準備すること、知っておくべきことを埼玉県立小児医療センターの医師、看護師がお話しします。患者さんが「自分自身の病気をどれくらい説明できるか」、「薬や体調の管理がどれくらいできているか」等の**セルフチェック**もおこないます。

患者さん（ご本人）も積極的にご参加ください！

申込み方法

- ・埼玉県立小児医療センターのホームページからお申込み
- ・右のQRコードからお申込み



申込み期間

8月10日（木）から（定員になり次第締め切り）

参加対象者

- ・埼玉県在住の概ね15歳以上の小児慢性特定疾病医療受給者とその家族
- ・埼玉県在住の成人期移行をお考えの方
- ・埼玉県内の医療機関の関係者

主催
事務局

埼玉県移行期医療支援センター
埼玉県立小児医療センター

お問い合わせ

地域連携・相談支援センター（担当：紫藤・佐々木）
TEL 048-601-1509（直通） 〒330-8777 さいたま市中央区新都心1-2

今年度情報交換

日時：2023年8月29日（金） 10時30分より

先天性心疾患で小児期に手術を受けた子供が成人となり、出産や再発に直面した場合、如何にシームレスに医療を継続するか。

国際医療センターの組織名を変更

成人先天性心疾患センター

→ 成人・**移行期**先天性心疾患センター

「総合相談支援センター開設のご案内」ちらしを埼玉県移行期医療支援センターへ設置して頂き、当院窓口との連携強化を確認

地域医療関係者との連携（埼玉県薬剤師会、飯能地区薬剤師会）

第42回 日高・飯能地区 病診連携薬剤師会勉強会

日時：2023年3月7日（火）19:00～20:40

※当会は研修認定薬剤師制度受講シール1点が付与されます。詳細は裏面をご確認下さい。

開会のご挨拶：19:00～19:10

埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 部長 牧野 好倫 先生

一般演題：19:10～19:40

座長 アポクリート株式会社 薬局事業本部 関東第二事業部
次長 立澤 明 先生

講演1 ふれあい薬局飯能店 代表取締役 池田 里江子 先生

地域における市民の脳卒中イベント発症の前と後

講演2 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部 清水 敦子 先生
脳卒中患者さんと当院薬剤師の関わり

特別演題：19:40～20:30

座長 埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部係長
桑田 康宏 先生

講演 埼玉医科大学国際医療センター 脳卒中外科 講師
鈴木 海馬 先生

脳血管外科医が考える脳卒中後遺症へのケア ～脳卒中相談窓口の取組も含めて～

閉会のご挨拶：20:30～20:40

飯能地区薬剤師会 会長 福島 毅 先生

Web配信（ZOOM）にて開催させて頂きます。ご視聴をご希望の先生はお手数をお掛け致しますが、担当のMR、もしくは下記の代表連絡先、もしくは二次元コードからご連絡ください。
ご連絡頂いた先生にご専用URLを後日送付致します。
■視聴問い合わせメール：uekubo.ryota_fa@daishisanryo.co.jp
■担当：第一三井株式会社 上久保 真由美
ご参加とお名前と専用URL送付用の連絡先を明記の上、ご連絡いただけますようお願い申し上げます。
受付締切日：2023年3月3日（金）



二次元コード

*確認させていただきました。ご芳名は、医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただきます。何卒、ご理解とご協力賜りますようお願い申し上げます。

前年度実績

地域調剤薬局との連携（薬々連携）

- ・第42回日高・飯能地区病診連携薬剤師会勉強会にて相談窓口（脳卒中）を説明

- ・埼玉県薬剤師会雑誌へ「総合相談支援センター開設のご案内」ちらし2,800部を同封

- ・飯能地区薬剤師会会員施設へ「総合相談支援センター開設のご案内」ちらしを施設内に掲示依頼

その他の働きかけ、連携

- **埼玉県内の小中高校の児童・学生・教員への働きかけ**
 - ✓ 埼玉県が新規採用する養護教諭向け研修
 - ✓ 医師を目指す高校生の志を養成する研修
 - ✓ 小学校PTA養護委員会家庭教育学級向け研修
- **埼玉県内全消防署 救急隊への働きかけ**
 - ✓ 日本臨床救急医学会認定 脳卒中病院前救護 PSLS(Prehospital Life Support) (脳卒中)
 - ✓ 埼玉県大動脈緊急症ネットワークの運用に係る研修会 (心臓)
 - ✓ 日本救急医学会公認 外傷病院前救護ガイドラインJPTECコース(Japan Prehospital Trauma Evaluation Care)
 - ✓ 日本災害学会認定 多数傷病者対応MCLS(Mass Casualty Life Support)
- **埼玉県医師会・郡市医師会との連携**
 - ✓ 近隣7地区医師会の**在宅医療連携拠点**との治療と仕事の両立支援・就労支援、緩和ケア研修

国際医療センター 院内施策

- **心不全手帳**の活用
 - ✓ 新規外来患者、新規入院患者へ配付・・・毎日の自己管理を指導
- **VAD装着患者向け治療生活支援アプリ**の導入
 - ✓ 入院前から退院後まで充実した患者用教育コンテンツ
 - ✓ 患者自身の体調管理をアプリが支援、医療機関でも閲覧することで診療が効率化
 - ✓ 患者の体調確認、抗凝固薬などの薬剤調整、VADの機器確認、ドライブライン刺入部の確認
- **退院時の患者指導**を包括的に電子カルテにセット化
 - ✓ 薬剤、リハビリ、栄養に関する対応の確認（栄養は途上）
- **療養・就労両立支援指導料**
 - ✓ 埼玉産業保健総合支援センターとの協定締結を機に見直し
- **各種患者指導の動画作成**
- **電子カルテ連動患者支援アプリ**の活用
 - ✓ 予約確認、検査前の注意事項確認、動画閲覧等が可能（途上）

地域モデルの構築（7地区医師会との連携：在宅医療連携拠点会議 2023.11.17）

- モデル事業は、予防、急性期、慢性期、在宅まで網羅した患者支援を目指す
 - 在宅医療連携拠点の活動は、「在宅医療・療養・介護に関する相談支援」「市民向けACP普及啓発」「医療・介護関係者への研修（在宅緩和ケア含む）」「各種連携会議の開催」など、多岐に渡る
 - 拠点では、急性期への介入はほぼない。疾患別の連携は考えにくい（担当患者がたまたま循環器病であるケース）
 - 拠点の役割は、「個々の患者さんの担当」より、むしろ「機関同士をつなぐ役割」がメイン
 - コーディネーターからアンケート情報の収集
- 在宅医療連携拠点とのネットワーク構築を依頼
- リハビリ、緩和ケアに関する地域連携勉強会
 - 過去に開催した市民公開講座のアーカイブ配信の活用
 - 今後企画する各種会議や勉強会の情報宣伝
 - 日常業務で発生する疑問を当院HPからWEB受付し、専門家が回答

脳卒中・心臓病等総合支援センターの事業展開

脳卒中相談窓口機関の連携 (PSC, PSC core)

心臓病相談窓口機関の連携

多職種地域連携

埼玉県における脳卒中相談窓口・心臓病相談窓口のとりまとめ役

脳卒中・心臓病等総合支援センター (当院)

窓口事業の方向性を示す

埼玉県循環器病対策推進協議会

埼玉県の循環器病対策推進計画に反映

循環器病患者・家族への支援の均霑化

協力・連携機関

- 国（厚労省・循環器病支援総合委員会）
- 埼玉県（疾病対策課）
 - ✓ 埼玉県循環器病対策推進協議会
 - ✓ 同・脳卒中部会 / 心疾患部会
- 埼玉県医師会
- 埼玉県郡市医師会（7地区医師会）
- 地域医療支援病院運営委員会（地域の医療連携）
- 日本脳卒中学会 / 同・埼玉県脳卒中対策推進委員会
- 日本循環器学会、日本心不全学会、日本心臓血管外科学会
- 埼玉県看護協会、理学療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会他

まとめ

- 2023年度、埼玉県（国際医療C）が循環器病支援モデル事業に採択
- 目標は県内全域で均一で良質な脳卒中/心臓病患者・家族への支援提供
- 包括的患者支援センター内の一部門として稼働（患者支援戦略の統合化）
- 医療機関、介護・福祉施設との連携を強化し、地域モデルを確立
→ 埼玉県各地域へ横展開
- 三大疾病の重複に対応可能な「埼玉モデル」の構築が目標

課題

- 脳卒中・心臓病等総合支援センター（国際医療C）の県民、医療 / 介護従事者への周知
- 県民（啓蒙活動）、医療・介護従事者への継続的な教育

埼玉県一次脳卒中センターのMSW皆さまの
ご支援が不可欠です。

今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

第2回医療ソーシャルワーカー(MSW)連携会議@2024.3.19



※ギャラリーの1枚目しかスクリーンショットができておりませんでした。
誠に申し訳ありません。